



平成27年7月6日  
中部経済産業局

## 中部の「地域産業資源活用事業計画」

### 平成27年度第1回認定について

中部経済産業局では、平成19年6月に施行された「中小企業地域資源活用促進法」に基づき、中部地域における平成27年度第1回の認定として、「地域産業資源活用事業計画」8件の認定を行いました。

1. 本事業は、中小企業者が、産地の技術、農林水産品、観光資源といった地域の特徴ある産業資源を活用して、域外市場を狙った新商品、新サービスの開発・事業化を目指す取組を支援しており、平成27年度第1回として8件の計画を認定しました。（各認定計画の概要は別紙のとおり）
2. 中部経済産業局では、平成27年2月までに244件の事業計画を認定しており、今回の認定により、法施行後の当局認定件数は252件となります。
3. 認定案件については、（独）中小企業基盤整備機構中部本部または北陸本部の専門家等により、事業化までのフォローアップが実施されます。
4. 事業計画の認定を受けた事業者は、事業計画に基づく試作品開発や販路開拓に対する補助金、政府系金融機関の低利融資、信用保証の特例、中小企業投資育成株式会社の特例、専門家によるアドバイス等の各種支援施策を受けることが可能となります。

（お問い合わせ先）

中部経済産業局 産業部 経営支援課長 金森

担 当：中村

電 話：052-951-0521（直通）

FAX：052-951-9800

平成27年度 第1回地域産業資源活用事業計画認定事業一覧

(別紙)

番号	事業者名	地域名	本事業商品写真	事業テーマ	事業概要
1	株式会社大野屋	富山県 高岡市	 【高岡ラムネ】 宝尽し生姜味	富山米の米粉を活用した落雁木型製法によるラムネ菓子の製造・販売事業	粘りの強い富山米と伝統的な落雁製造用木型によるラムネ菓子の製造・販売を行う。 富山米をつなぎとして活用し、口溶けの良さを高めている。また、木型で作るため、ラムネ一粒一粒の形状が異なるほか、和風なパッケージや風味にこだわり、優雅で高級感のある商品展開を進め、大人の女性をターゲットに需要開拓に取り組む。
	【活用する地域資源】 富山米				
2	有限会社浅田漆器工芸	石川県 加賀市	 色漆によるティーカップ	山中漆器の漆塗り技術を九谷焼磁器へ活用した商品の製造・販売事業	山中漆器の漆塗り技術を九谷焼磁器へ活用した漆塗り磁器商品の製造・販売を行う。 従来の陶磁漆器に比べ、カラーバリエーションを豊富にしたことで差別化を図り、漆塗膜の独特な光沢や質感により、落ち着きある商品を開発した。 シニア・高齢者向けの嗜好性の高い商品として、百貨店やセレクトショップ等へ展開する。
	【活用する地域資源】 伝統的工芸品(山中漆器)				
3	たにてる工芸	石川県 加賀市	 本事業商品の一例	山中漆器の木地製造技術とNC加工技術の融合によるテーブルウェアなどの製造・販売事業	山中漆器の木地製造技術に、数値制御による機械加工を加え、加飾性の優れたテーブルウェア等の製造・販売を行う。 これらの技術により寸法精度の狂いを制御し、今までプラスチックなどで対応していた製品の製造が可能。 木工製品を好む消費者をターゲットに木工製品では再現できなかった商品展開を行い、需要を獲得する。
	【活用する地域資源】 伝統的工芸品(山中漆器)				
4	株式会社明石合銅	石川県 白山市	 鉛フリーシリンダブロック例	建設機械部品に係る製造技術を活用した環境配慮型油圧機器部品の製造・販売事業	鉛を使用しない材質を活用し、建設機械の油圧ポンプなど高負荷に係る部品の製造・販売を行う。 鉛フリー銅合金は、主に水道の配管などに用いられているが、油圧ポンプなど高い負荷のかかる部品での量産化は世界でも例が無い。 国内外の建設機械メーカーなどへ広報活動を行い、需要獲得を行う。
	【活用する地域資源】 建設機械・鉱山機械部品				
5	株式会社OkuruSky	石川県 穴水町	 フィグログ(プレーン味)	能登のぶどうを活用したフィグログ等ワインにマッチする加工食品の製造・販売事業	醸造用ぶどうを活用したフィグログなどの加工食品の製造・販売を行う。 本事業のフィグログ(干しぶどうやクルミなどを砕いて練り固めたイタリアの伝統食)は、ぶどう以外の材料も国産とし、製法に工夫を施すことで6ヶ月間という長期保存を実現。 ワイン愛飲家をターゲットに商品を投入し、域内外の需要開拓に取り組む。
	【活用する地域資源】 能登のぶどう				

6	株式会社谷口製陶所	岐阜県 多治見市	 本事業商品の一例	曲面形状金型とプレス制御による立体形状タイルを核とした美濃焼装飾タイルの製造・販売事業	従来品に比べて隆起が大きい内壁装飾用タイルの製造・販売を行う。厚みがあり、曲面形状を実現したタイルを製造可能とする特殊金型を開発し、独自のプレス成型方法により、量産化に成功。厚みや曲面を生かしたデザインを強みに国内外の販売代理店、建築デザイナーやエンドユーザまで幅広く販路を開拓する。
	【活用する地域資源】 美濃焼				
7	Y's-TEXTILE	岐阜県 各務原市	 当社のジャカード織り生地を使った製品例	繊細なデザインを小ロットから提供できるジャカード織りの生地および製品の製造・販売事業	写真のような繊細なデザインを織物で製造できる生地等の製造・販売事業を行う。従来のジャカード織り工程をスマート化し、小ロットで低価格の提供を実現。変化の速い消費者トレンドに対応することが可能。国内外において、デザイナーや個人への生地販売やデザイナーとのコラボレーション商品への展開も視野に入れる。
	【活用する地域資源】 岐阜、西濃の織物				
8	株式会社ウェルフード	三重県 鈴鹿市	 大豆プチパン	三重県産大豆を使用した糖質制限パン・スイーツの製造・販売事業	小麦粉の代わりに三重県産大豆の大豆粉を使用した糖質制限パン・スイーツの製造・販売を行う。大豆粉は、酵素を失活させて大豆臭さを軽減し、従来の糖質制限パンに比べて食べやすい工夫を行っている。今後、三重県産大豆の豆乳を使った糖質制限商品も開発し、糖尿病患者など糖質制限をされる方への販売を行う。
	【活用する地域資源】 大豆				

3類型	農林水産品	通巻番号	4-27-001
地域資源名	富山米	認定日	平成27年7月6日
地域	富山県全域	所管省庁	農林水産省、経済産業省

**事業名：富山米の米粉を活用した落雁木型製法によるラムネ菓子の製造・販売事業**

会社名：株式会社 大野屋

所在地：富山県高岡市木舟町12番地

連絡先：TEL：0766-25-0215  
FAX：0766-24-9117

H P：<http://www.ohno-ya.jp/>

### 事業概要(新たな活用の視点)

- ・当社は、天保9年より菓子屋として和菓子の製造を続けてきた。
- ・本事業では、富山米を用いた新たなラムネを開発。
- ・富山米は、米粒が水分をふんだんに含み、粘りが強く、やや硬めで甘味のある米であり、その米粉を活用することで、自然なお米の甘さと米粉の粒子が適度なつなぎの役割を果たし、口どけの良さを高めたラムネを開発した。
- ・また、ラムネは一粒ずつ、落雁を製造する木型に入れて作り上げるため、それぞれ形状が異なり、見た目でも楽しめる仕上がり。
- ・本事業商品を「高岡ラムネ」と命名し、富山県や石川県などへの観光客等を中心に販売していく。



【高岡ラムネ】  
宝尽し生姜味

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### ◆競争力

・本商品は富山米の米粉を活用した事で、口に入れた時の口当たりの円やかさと口の中での溶けやすさ、甘みを実現したことで従来のラムネとの差別化を図っている。

#### ◆市場性

・和洋菓子・チョコレート等の流通菓子全体の菓子市場は平成25年小売金額で3兆円を超える巨大な市場である。そのうち、ラムネなどの製品が含まれるカテゴリーでは堅調な動きが見られ、十分な市場が見込める。

#### ◆販路

・本店(直営)、百貨店、富山駅・高岡駅の駅中ショップで、お土産品需要に応える。今後開拓していく販路としては、金沢などの近隣県の観光地土産品店、首都圏へと販路を拡大していく。



【高岡ラムネ】  
春けしき苺味

### 地域資源における関係事業者等との連携

・原材料としての富山米は地元高岡市内の事業者から調達する。高岡商工会議所とは経営面での助言を受け、県や市とは富山・高岡の地域の特徴有る土産品として連携して事業PRを実施して行く。



3類型	鈹工業品	通巻番号	4-27-002
地域資源名	伝統的工芸品(山中漆器)	認定日	平成27年7月6日
地域	石川県加賀市	所管省庁	経済産業省

**事業名: 山中漆器の漆塗り技術を九谷焼磁器へ活用した商品の製造・販売事業**

会社名: 有限会社浅田漆器工芸

所在地: 石川県加賀市山中温泉菅谷町ハ-215

連絡先: TEL: 0761-78-4200

H P: <http://www.uruwashikki.com/>

FAX: 0761-78-0470

### 事業概要(新たな活用の視点)

・漆では出せない純白色を持つ九谷焼磁器に山中漆器の近代漆器の塗りの技術の活用と当社独自の加工を施し、漆塗り磁器商品を完成させた。漆塗膜の特徴である、独特の光沢、美しさ、深み感、ふっくらした感じ、しっとりした質感と堅牢さがある。さらに、透明漆に顔料を調合した色漆によりカラフルな商品を提供し、今後、山中漆器と九谷焼のコラボ商品「加雅美」ブランドとして、新しい洋風タイプの食器類を市場に提供していく。



【色漆によるティーカップ】

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### ◆競争力

・これまでの陶胎漆器は、朱色・黒色が一般的であったが、本事業製品は、朱色・黒色以外にもパステルカラー等の淡い色合いの漆を活用した洋風タイプの商品であり、ライフスタイルに合わせて選べるカラーバリエーションで差別化を図っている。

#### ◆市場性

・ターゲットとしているシニア・高齢者の嗜好性と購買行動には、使い心地を重視する意見が多く見られるが、ライフスタイルに合わせたカラーバリエーションのほか、磁器の持つ重量感と冷たいイメージに漆の暖かさとしっとりとした手触りを実現し、市場ニーズに合った商品となっている。

#### ◆販路

・百貨店、セレクトショップ等での主にギフト商品として販路開拓を行う。既存の漆器の販路の他に、今後は新たに陶磁器としての販路開拓を行っていく。



【漆と九谷焼のコラボ商品】

### 地域資源における関係事業者等との連携

・加賀市打越製茶農業協同組合や九谷焼事業者との連携によるPR事業、石川県デザインセンターや石川県工業試験場との連携による商品開発等を進めていく。

<b>3類型</b>	鋳工業品	<b>通巻番号</b>	4-27-003
<b>地域資源名</b>	伝統的工芸品(山中漆器)	<b>認定日</b>	平成27年7月6日
<b>地域</b>	加賀市	<b>所管省庁</b>	経済産業省

**事業名:** 山中漆器の木地製造技術とNC加工技術の融合によるテーブルウェアなどの製造・販売事業

**会社名:** たにてる工芸

**所在地:** 石川県加賀市山中温泉滝町ホ1  
99-1

**連絡先:** TEL:0761-78-5880  
FAX:0761-78-5880

**H P:** <http://taniteru.com/>

### 事業概要(新たな活用の視点)

・山中漆器における木地挽きは、木材の乾燥による収縮を低減するための「縦木取り」と、軽く薄くするための「薄挽き」と呼ばれる木材の加工技術によって生産されるのが特徴。いかに強度を保ちながら薄く仕上げるかという点において、他漆器産地とは異なる技術が発展してきた。

・本事業では、伝統的な木地挽き技術を基礎として、あらたにNC加工機を導入することで、轆轤や旋盤加工では加工が困難であったねじ加工やくりぬき等の加飾加工を可能にし、従来の漆器とは異なる商品の開発に成功。



### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### ◆競争力

・木地挽きやNC加工による精度の高い木地加工に加え、「木固め」「目すり」などの塗り加工を施すことにより、木の乾湿に起因する寸法精度の狂いを制御し、精度の高い加工を実現している。

#### ◆市場性

・テーブルウェア安価で大量生産される商品が求められる一方で、長く大切に使うテーブルウェア商品を求める消費者も多く、当社の天然木を精度の高い技術で加工した商品は後者のニーズに合致しており、十分な市場性が見込める。

#### ◆販路

・本事業においては、「天然素材」であることに加え、「日本の職人技術」を訴求することにより、時流に敏感なセレクトショップを中心として販路を開拓していく。開拓にあたっては、加工技術を基に、デザイナー等を介して商品開発や販路開拓を図る。

### 地域資源における関係事業者等との連携

・これまでも石川県産業創出支援機構や山中商工会などからの支援を受けてきた。今後も協力・連携をさらに強固なものとしていく。

<b>3類型</b>	鋳工業品	<b>通巻番号</b>	4-27-004
<b>地域資源名</b>	建設機械・鋳山機械部品	<b>認定日</b>	平成27年7月6日
<b>地域</b>	県全域	<b>所管省庁</b>	経済産業省

**事業名:** 建設機械部品に係る製造技術を活用した環境配慮型油圧機器部品の製造・販売事業

**会社名:** 株式会社明石合銅

**所在地:** 石川県白山市横江町1484

**H P:** <http://www.akashigo.com/>

**連絡先:** TEL:076-276-5533

FAX:076-276-9139

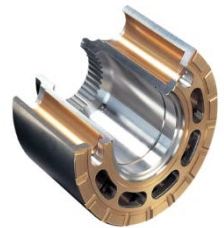
### 事業概要(新たな活用の視点)

・同社は昭和21年、金沢市内で明石鋳造所として創設され、昭和52年現在地に移転するとともに現社名に変更した。建設機械部品、油圧機器部品などを製造し、株式会社小松製作所、日立建機株式会社などを主力取引先としている。

環境配慮型軸受銅合金は約5年前から地域の企業などと共同で開発に着手。金属組織の形態的特徴を利用し、摩擦摩耗特性を大幅に改善した、鉛フリー化銅合金「パーライトブロンズ」の開発に成功。

この開発は、環境規制への対応をめざす建設機械メーカーを中心に国際競争力強化に寄与するものである。なお、本銅合金は国内特許に加え、EU、インド、アメリカなどの国際特許を取得している。

・本事業は、鉛フリー摺動材パーライトブロンズを用いた油圧ポンプ用シリンダブロック、クレードルなどの建設機械部品を製造・販売する。



(鉛フリーシリンダブロック例)

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### ◆競争力

・鉛フリー銅合金を製造する事業者は国内で散見されるが、おもに水道の配管などに用いられる。建設機械などの油圧ポンプなど高負荷がかかる部品として量産化をめざすのは、国内はもとより、世界でも例がない。

#### ◆市場性

・2014年の軸受完成品販売金額は約7,309億円である(経済産業省機械統計より)。また、株式会社小松製作所のH24年12月事業説明会資料から推察すると、2011年の油圧シヨベル向シリンダブロックの市場規模は約56億円と推定される。

また、国内外において環境負荷物質に対する規制がなされている状況下であり、環境配慮型軸受銅合金による建設機械部品に対するニーズは見込まれる。

#### ◆販路

・販路ターゲットは建設機械メーカーを中心に、油圧機器メーカー、農業機械メーカーなどである。これらの事業者に対し、国内外の展示会に出展し認知度を高めながら、それぞれの事業者に提案営業を行う。

### 地域資源における関係事業者等との連携

・石川県工業試験場とは、開発当初からのパートナーであり、緊密な関係を築いている。今後も材料組成の微調整などで助言をいただく。

3類型	農林水産品	通巻番号	4-27-005
地域資源名	能登のぶどう	認定日	平成27年7月6日
地域	七尾市、輪島市、志賀町、穴水町、能登町	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：能登のぶどうを活用したフィグログ等ワインにマッチする加工食品の製造・販売事業

会社名：株式会社OkuruSky

所在地：石川県鳳珠郡穴水町字鹿波ハ  
1-1

連絡先：TEL：0768-58-1522

FAX：0768-58-1523

H P：http://okurusky.jp/

### 事業概要(新たな活用の視点)

・自社農園で栽培した能登のぶどう(ワイン醸造用ぶどう)は、これまで地域のワイン製造会社へワイン醸造用のぶどうとして供給してきたが、このぶどうの新たな活用として、ワインの飲酒時にマッチするおつまみ食品を提供するという新発想のもと、フィグログを中心としたぶどう加工食品を製造・販売する。

・能登のぶどうは、水分含有量が少なく、高糖度、高酸度という特徴を有する。酸味が高いため、生食には適さないが、これをローストすることにより、酸味を抑え、甘みを引き出すことに成功。これにより、これまで醸造用のみに使用していたぶどうをフィグログ等加工食品として提供するという新たな活用の視点を見いだした。

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### ◆競争力

・使用するぶどうは、自社農場で栽培されたものであり、その栽培には除草剤を用いない等の安全安心の配慮を施している。他の原材料も全て能登地区または石川県産のものを使用するなど、地産にこだわり、競合品との差別化を図っている。

#### ◆市場性

・本商品は「ワインの最高の伴侶」というコンセプトで開発を進めているが、ワイン市場は近年ワインブーム等の影響で拡大傾向にあり、それに伴い、本商品の市場性も拡大していくと見込める。

#### ◆販路

・能登や金沢を訪れる観光客へのお土産品として、駅・空港の売店、観光地周辺のお土産品店を中心に販路を開拓していく。さらに、首都圏や関西圏の百貨店のほか、ネット販売等により全国への販路拡大を目指す。



【フィグログ(プレーン味)】



【自熟能登のぶどう農園】

### 地域資源における関係事業者等との連携

・地域内のワイン製造会社やぶどう生産組合とは、新品種の栽培の指導・評価で連携。穴水町商工会とは商品の域外へのPRで連携。穴水町とはぶどう園を活用した農業体験型のワインツーリズムにおいて連携し、地域の活性化を図る。



3類型	鈹工業品	通巻番号	4-27-006
地域資源名	美濃焼	認定日	平成27年7月6日
地域	多治見市、瑞浪市、土岐市、 可児市	所管省庁	経済産業省

**事業名: 曲面形状金型とプレス制御による立体形タイルを核とした美濃焼装飾タイルの製造・販売事業**

会社名: 株式会社谷口製陶所

所在地: 岐阜県多治見市笠原町4106番地の  
16

連絡先: TEL: 0572-43-2167

FAX: 0572-44-2565

H P: <http://www.taniguchi-tiles.com>

### 事業概要(新たな活用の視点)

・当社は昭和34年の創業以来、美濃焼タイルの専門メーカーとして全国に外壁タイル、床タイルを提供してきた。平成23年国際タイル見本市視察により、イタリアの斬新なデザインに感銘を受け、従来にないデザインのブランドタイル開発に着手し、意匠性の高い「KOMINO」シリーズを開発。

・当社が有するプレス成形技術に、新たにタイル用の特殊形状金型を導入して、立体的かつ曲面を有する内壁用装飾タイルを実現した。

・厚みの差が大きいタイルの場合、タイル内の密度に差が出るため、ひび割れや歪みが発生し、品質を保つことが難しい。当社では、独自の特殊形状金型を活用し、高い品質を維持しながら、立体感のある自由なデザイン設計を確立した。



(本事業商品)

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### ◆競争力

・本事業では、従来、割れや歪みが発生し開発が難しかった厚みの差が大きいタイルを独自技術により高い品質で実現しており、従来のタイルにはない立体造形を可能とした。これにより、形状の自由度が上がり、意匠性の高い商品となっており、競合品との差別化を図っている。

#### ◆市場性

・国内タイル市場は、一時期は縮小傾向にあったものの、近年は、450億円程度で安定して推移しており、タイルの一定の新規設置や張り替え需要が見込める。

・特に本商品は、その意匠性の高さから、商業施設の店内、玄関などで新しい感覚の建築空間、ライフスタイルを創出する手段としてニーズが増えつつあり、一定の需要も見られる。

#### ◆販路

・当社の国内代理店と海外代理店のショールームを拠点として商品展示を行い、商業施設、会館など大型建築を扱う建築デザイナーや施主への拡販を行う。

### 地域資源における関係事業者との連携

・当社は岐阜県陶磁器工業協同組合連合会の会員であり、連携を図りながら事業を推進する。

3類型	鉦工業品の技術	通巻番号	4-27-007
地域資源名	岐阜、西濃の織物	認定日	平成27年7月6日
地域	岐阜市、大垣市、関市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、海津市、岐南町、笠松町、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町	所管省庁	経済産業省

事業名: 繊細なデザインを小ロットから提供できるジャカード織りの  
生地および製品の製造・販売事業

会社名: Y's-TEXTILE

所在地: 岐阜県各務原市那加前洞新町4-78  
-2

連絡先: TEL: 058-371-7213  
FAX: 058-372-7175

HP: <http://www.ystextile-ori.com>

### 事業概要(新たな活用の視点)

- ・Y's-TEXTILE(ワイズテキスタイル)は、平成15年に、カーテンなどの量産織物の製造では無く、美術的価値の高い製品を製作することを目的として立ち上げられた。
- ・それまでに培ってきたジャガード織りの生産技術を基に、他社では実現が難しい差別化できる事業展開が出来ないかと模索していた。
- ・写真を織物で表現することを目標に、織り工程を大幅に見直し、細かな織り目の単位において、多くの発色を可能にした。
- ・この技術により、写真を忠実に再現するのみならず、従来の織り行程の大幅な効率化に繋がり、小ロット生産でも低コスト化を実現している。



【写真:「当社のジャカード織り生地を使った製品例」】

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### ◆競争力

- ・本技術を使った商品は、繊細なデザインのジャガード織りによる生地が、1メートルという極小ロットから低コストで提供できるものとなっており、主に、アパレル雑貨や生活雑貨などのデザイナーや個人規模でのオリジナルな生地提供ができる点が大きな競争力となっている。

#### ◆市場性

- ・デザイン案に対して、アパレルや生活雑貨分野においては、消費者トレンドの変化が速く、かつ、小ロットで迅速なものづくりが必要となっており、デザイナーを中心に本技術を使った生地への要望は高まっている。

#### ◆販路

- ・直販を基本としており、デザイナーからの直接受注を中心に、企業向けオリジナルグッズ等のOEMでの受注を獲得していく。今後は、デザイナーと組んだ自社商品への展開も視野に入れつつ、販路を拡大していく。

### 地域における関係事業者との連携

- ・地元の商工会議所が行うイベントへの参加や、地域の同業者と密接な関係を有しており、また今後の製品開発には、地元業者との連携も視野に入れている。

3類型	農林水産物	通巻番号	4-27-008
地域資源名	大豆	認定日	平成27年7月6日
地域	三重県全域	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：三重県産大豆を使用した糖質制限パン・スイーツの製造・販売事業

会社名：株式会社ウェルフード

所在地：三重県鈴鹿市算所2-8-5

連絡先：TEL：059-389-7431

FAX：059-389-7432

HP：<http://www.wellfood.co.jp/>

### 事業概要(新たな活用の視点)

- ・当社は三重県鈴鹿市で「糖限郷」という屋号で創業。代表者や家族の糖尿病発症を機に、血糖値を急上昇させないため砂糖や小麦粉を使用しない糖質制限食品の開発と販売を目指して、小麦の「ふすま」を利用したパン・菓子等を製造してきた。
- ・本事業では、小麦粉の代わりに三重県産大豆「フクユタカ」の大豆粉を用いた糖質制限パンを開発した。「ふすま」同様に、小麦粉と比較して低糖質である上、使用する大豆粉は特殊な工程で粉碎・製粉化したことで大豆の臭みを抑え、食べやすい風味を実現した。
- ・今後は、プチパンや食パンに限らず、菓子パンやスイーツ、「フクユタカ」の豆乳を用いたプリン等の開発を計画している。



### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### ◆競争力

- ・県内加工業者の製造する酵素を失活した大豆粉を使用することで大豆臭さが軽減されており、臭みやクセが少なく、食べやすい風味となっており、競合品に対しても十分な競争力を有している。

#### ◆市場性

- ・厚労省の調査によれば、糖尿病が強く疑われる者の割合は年々増加しており、人口推計で2,050万人ものマーケットが存在する。
- ・糖尿病患者に限らず、予防を考える層も加えればさらにマーケットは広がると考えられ、本商品が狙う糖質制限食の市場性は十分に見込める。

#### ◆販路

- ・既存のインターネット事業と、新規の店舗事業の2チャンネルを主として販路開拓を行う。その中でターゲットのすみわけを明確にし、ブランディングを進めていく。

### 地域における関係事業者との連携

- ・県などの公的支援のほか、地域の事業者・大学などとも連携している。